



第19回地球観測衛星委員会(CEOS)本会及び 第12回統合地球観測戦略パートナーシップ(IGOS-P) 臨時会合の結果について

平成17年11月30日
宇宙航空研究開発機構
堀川 康

地球観測衛星委員会 (CEOS) の概要

メンバー国: 59カ国とEU
参加機関: 43機関

政府間地球観測グループ (GEO)

統合地球観測戦略
パートナーシップ
(IGOS-P)
CEOSを含む14の
国際組織で構成

地球観測衛星委員会
(CEOS)

戦略実施チーム(SIT)
JAXA (議長)
ESA (副議長)

GEOとの関係に関する
CEOSタスクフォース
JAXA (議長)
(2004.11-2005.11)

校正・検証作業部会
(WGCV)
NASA (議長)

情報システム・サービス
作業部会(WGISS)
ESA (議長)

教育訓練作業部会
(WGEdu)
UNOOSA (議長)

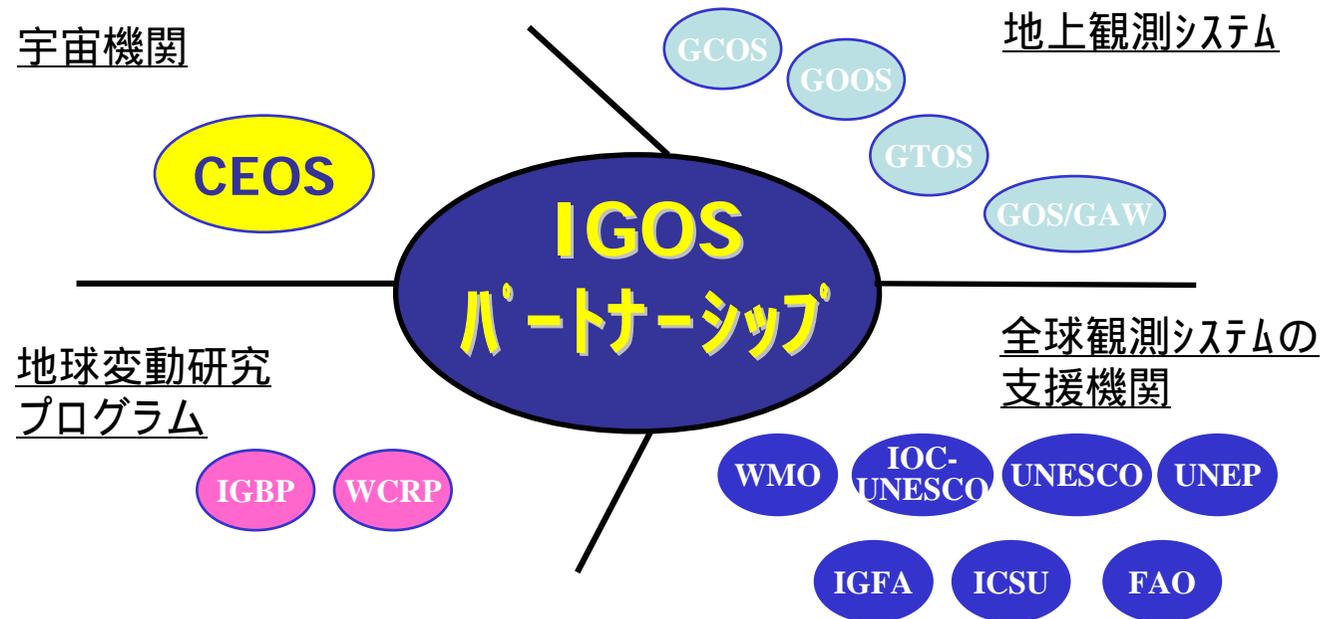
目的: 地球観測衛星計画の国際調整
◆24の宇宙機関と21の政府・国際機関が参加
議長: 2005年11月英国、2006年11月アルゼンチン
CEOSはIGOSパートナーシップの一員であり、IGOSの宇宙部分の企画実施の戦略実施チーム(SIT)を設立
◆CEOS、IGOS-Pは、GEOの参加機関

- CEOSメンバー機関**
- ASI (イタリア宇宙機関)
 - BNSC (英国国立宇宙センター)
 - CAST (中国空間技術研究院)
 - CSA (カナダ宇宙庁)
 - CNES (仏国立宇宙研究センター)
 - CONAE (アルゼンチン国立宇宙機関)
 - CSIRO (オーストラリア連邦科学産業研究機構)
 - DLR (ドイツ航空宇宙センター)
 - EC (欧州共同体)
 - EUMETSAT (欧州気象衛星機構)
 - ESA (欧州宇宙機関)
 - ISRO (インド宇宙研究所)
 - INPE (ブラジル国立宇宙研究所)
 - KARI (韓国航空宇宙研究所)
 - NASA (米国航空宇宙局)
 - NASRDA (ナイジェリア宇宙研究機関)
 - NOAA (米国海洋大気局)
 - NRSCC (中国リモートセンシングセンター)
 - NSAU (ウクライナ国立宇宙機関)
 - ROSHYDROMET (ロシア水文気象機構)
 - RASA (ロシア航空宇宙局)
 - MEXT/JAXA (日本、文部科学省/宇宙航空研究開発機構)
 - SNSB (スウェーデン国立宇宙機関)
 - USGS (米国地質調査所)

統合地球観測戦略(IGOS) パートナーシップ

- 1998年6月、地球環境問題、研究、地球観測データの提供に係わる諸国際機関の協力強化のため、統合地球観測戦略パートナーシップ(IGOS-P)設立。
- 8つの「テーマ」(海洋、大気化学、炭素循環、水循環、陸域災害、沿岸、陸域、雪氷圏)において、観測要求を取りまとめ、衛星観測と地上観測を統合し、最適な全球観測を実現するための戦略を策定、実施している。

地球観測衛星委員会(CEOS)
 全球気候観測システム(GCOS)
 全球陸域観測システム(GTOS)
 全球海洋観測システム(GOOS)
 全球観測システム(GOS) /
 全球大気化学監視計画(GAW)
 世界気候研究計画(WCRP)
 地球圏・生物圏国際協同研究
 計画(IGBP)
 地球変動研究国際資金グルー
 プ(IGFA)
 国際科学会議(ICSU)
 国連環境計画(UNEP)
 国連教育科学文化機関
 (UNESCO)
 政府間海洋委員会-国連教育
 科学文化機関(IOC-UNESCO)
 国連食料農業機関(FAO)
 世界気象機関(WMO)



第19回CEOS本会合について

日程：平成17年11月15日(火)～16日(水)

場所：英国 ロンドン Cumberland Hotel

参加機関および人数：約20機関、約110名

議長：英国立宇宙センター(BNSC)長官

日本側出席者：堀川理事(JAXA)、稲田執行役、小池教授(東京大学)他

主な論点

- 1) 政府間地球観測グループ(GEO)との関係に係るCEOSタスクフォースの報告
- 2) 戦略実施チーム(SIT)におけるCEOS実施計画の報告

* 14日(月)：CEOSタスクフォース及びCEOS戦略実施チーム 会合
(議長：JAXA堀川理事)

GEOとの関係に係るCEOSタスクフォースの報告

【経緯】

CEOSタスクフォースは、GEOとの関係に関してCEOSの構造及び運営の見直しに関する勧告を行うことを目的に、第18回本会合において設置された(議長:JAXA堀川理事)。

GEOとの関係に関するCEOSタスクフォース報告書を提出、承認された。

* 同報告書はGEOの観測要求を受けて衛星観測計画の国際調整並びに技術検討を行うようCEOSの組織運営を抜本的に見直す勧告をまとめたもの。

タスクフォース報告書の勧告を実行するためのアクションを提案、決定された。

* 行動計画には、CEOS戦略実施チーム(SIT)が「GEOSSの宇宙部分の構築に関するCEOS実施計画」の策定や進捗の監督を行うこと、SITやCEOS各分科会がCEOS実施計画の実行を行うこと等が含まれている。

GEOに対するCEOSのポジションについて、CEOSがGEOSSの宇宙部分の構築を担うという方針が本会合で明確に示された。

SIT*におけるCEOS実施計画の報告(1/2)

「GEOSSの宇宙部分の構築に関するCEOS実施計画」の作成をSIT議長(JAXA堀川理事)が提案し、以下が合意された。

- 1) 全球地球観測システム(GEOSS)の9つの社会利益分野のうち、全球気候観測システム(GCOS)実施計画により観測要求が明確になっている気候分野はGCOS実施計画に対応する回答を作成。
- 2) 気候以外の8分野は各社会利益分野の観測要求の完成度に応じ、CEOS実施計画の概要を作成。

* **戦略実施チーム(SIT)**は、統合地球観測戦略(IGOS)の宇宙部分の企画・実施を行うCEOSの戦略検討組織(JAXAは平成15年11月から2年間議長を務めた)。

SITにおけるCEOS実施計画の報告(2/2)

「GEOSSの宇宙部分の構築に関するCEOS実施計画」作成スケジュール

平成18年1月9-11日	GCOSとCEOS専門家合同会合開催（ジュネーブ）
平成18年3月20-21日	SIT第18回会合開催（イタリア）。GCOS実施計画及び気候以外の8分野に対するCEOSの対応に関する中間報告資料のレビュー。
平成18年9月	SIT第19回会合開催（スクリプス）。GCOS実施計画及び気候以外の8分野に対するCEOSの対応について最終報告案のレビュー。
平成18年11月	第20回CEOS本会合(アルゼンチン)にて上記報告書について報告、承認を得る。
平成18年12月	第12回気候変動枠組条約締約国会議（COP-12）においてGCOS実施計画に対するCEOSの対応について報告。

その他

- 1) JAXAから、ALOSの打上げ準備状況、長期ビジョンと災害危機管理システムの構築、第12回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-12) の結果等について報告した。
- 2) 東京大学 小池教授から、東京大学がJAXA及びCEOSの協力を得て実施している全地球水循環協調集中観測計画 (CEOP) の第一段階(2000年～2004年)の成果について報告した。
- 3) 準メンバーであったタイ地理情報・宇宙技術開発機構 (GISTDA) がメンバーとなることが承認された。
- 4) 2005年11月から1年間のCEOS議長にアルゼンチン国家宇宙活動委員会 (CONAE) 長官が就任した。SIT議長がJAXA堀川理事から欧州宇宙機関 (ESA) リービック地球観測局長へ交代した。

第12回IGOS-P臨時会合について

日程：平成17年11月17日

場所：英国 ロンドン Cumberland Hotel

参加機関および人数：約 15機関、約55名

共同議長：世界気象機関(WMO)、アルゼンチン国家宇宙活動委員会
(CONAE)

日本側出席者：JAXA堀川理事、稲田執行役 他

主な論点

- 1) GEOとの連携について(新規テーマ及びIGOS-Pの拡大の検討)
- 2) IGOS各テーマの進捗状況の確認

GEOとの連携について

GEOSSの9つの社会利益分野に対応してIGOSの新規テーマとして「健康」と「エネルギー」の検討を行うこととなった。GEO事務局長からはIGOSの新規テーマの検討を歓迎する旨発言があった。

IGOSの新規テーマの検討のために、世界保健機構(WHO)及び国際エネルギー協会(IEA)等の新規パートナーを含めることを協議した。関係機関と調整し、その結果を次回IGOS-P本会合に報告することとなった。

IGOS各テーマの進捗確認

IGOSの各テーマの進捗状況を確認した。炭素循環テーマの実施計画書が提出され、レビューの要請があった。海洋テーマは現在定期見直しを実施中、テーマレポート改訂版は来年11月の完成を予定。

【実施中のテーマ】海洋、陸域災害、炭素、水循環、大気化学、沿岸
【戦略策定中のテーマ】陸域、雪氷圏

陸域災害テーマ / 国連教育科学文化機関(UNESCO)からGGOS (全球固体地球観測システム - 国際地震観測ネットワーク及び国際火山観測ネットワーク等で構成)のIGOS-P参加が提案された。CEOS/SITが検討し、賛同すればIGOS-Pへの参加が承認されることとなった。

今後の予定

次回CEOS本会合は2006年11月、アルゼンチン国家宇宙活動委員会 (CONAE) によりアルゼンチンにて開催される予定。

次回IGOS-P本会合は2006年5月、世界気象機関(WMO)により、ジュネーブにて開催される予定。